□■Ｙａｍａｇａｔａ■□□□

ご理解をいただきますようお願いいたします。

機構本部ホームページURL→
https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/tabid/1251/Default.aspx

◆令和４年度両立支援コーディネーター基礎研修のお知らせ（労働者健康安全機構）
～後期研修日程のお知らせ～
労働者健康安全機構では治療と仕事の両立支援に取り組んでおり、両立支援活動の推進のため、支援対象者と主治医、会社・産業医などの職場関係者をつなぎ、両立支援をサポートする「両立支援コーディネーター」の養成研修を行っています。
後期研修日程が公開されていますので下記URLをご確認ください。
https://www.johas.go.jp/ryoritsumodel/tabid/2126/Default.aspx

◆令和４年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」が開催されます。（厚生労働省）
厚生労働省では、治療と仕事の両立支援の促進を図るため、治療と仕事の両立支援シンポジウム（オンライン）を開催します。
１２月１９日の企業向けシンポジウムでは県内事業場の株式会社デンソーＦＡ山形様がパネリストとして参加されます。
詳細は下記URL【仕事と治療の両立支援シンポジウム開催案内ページ】をご覧ください。
https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/symposium/2022/

◆山形産業保健総合支援センターからのお知らせ
○「山形ゼロ災３か月運動・2022」参加事業場が公表されました（山形労働局）

○長時間労働が疑われる事業場に対する令和３年度の監督指導結果が公表されました（山形労働局）

○１１月は「過労死等防止啓発月間」です（山形労働局）

○令和４年版　過労死等防止対策白書が公表されました（厚生労働省）

○１１月は「しわ寄せ防止キャンペーン月間」です（厚生労働省）

〇令和４年　山形県内における労働災害発生状況（令和４年１０月末　速報）（山形労働局）

○令和４年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」が開催されます。（厚生労働省）

○令和４年度冬の労災をなくそう運動を実施します。（山形労働局）

○令和３年の定期監督等実施状況について公表します。（山形労働局）

○自動車運転者を使用する事業場に対する令和３年の監督指導等の状況について公表します。（山形労働局）

詳しくは当センターホームページ　「お知らせ」をご覧ください。
https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/

◇◇研修会・セミナー等のご案内◇◇
今後の研修会等につきましてお伝えいたします。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。
また、当センターホームページ内に「研修日カレンダー」を掲載（随時更新）しておりますので、ご確認ください。
→
https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e7%a0%94%e4%bf%ae%e6%97%a5%e3%82%ab%e3%83%ac%e3%
【～ＷＥＢ研修会について～】
・当センターにおけるＷＥＢ研修会は『Ｚｏｏｍ』というオンライン会議システムを使用します。研修会の参加につきましては、ブラウザからのアクセスも可能ですが、アプリケー

ションソフト「Ｚｏｏｍ」をダウンロードしてのご参加をお勧めします。アプリケーションソフトのインストール可否については、状況に応じ社内システム管理者様にご確認の上、ご対応ください。
　研修会当日、音が出ない・画像が映らない等の不具合がありましたら当センターまでご連絡ください。
・当センターＨＰの申し込みフォームよりお申込みください。受講申込みの方には、研修開催前の１週間前後に招待メールをお送りいたします。開催日３日前でも届かない場合やご不明な点がありましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください。（事業所内での招待メールの転送はご遠慮ください。）
・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインしていただくようお願いいたします。
・やむを得ず欠席される場合は、当日でも結構ですので当センターまでメールもしくは電話にてご連絡ください。

○【ＷＥＢ研修会】「依存症」ってなに？～アルコール依存症・ギャンブル等依存症～
　日　時　令和４年１２月２日（金）　14:00～15:00
　会　場　山形産業保健総合支援センターＷＥＢ会議システム『Ｚｏｏｍ』
　研修対象者　人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
　講　師　山形県精神保健福祉センター　　主任保健師　　遠藤　小耶加　氏
　定　員　４０名
　【研修のねらい】
　「依存症」は誰でもなる可能性がある「病気」です。
　しかし、依存症は本人に「病気」という自覚がない場合が多く、本人も気づかないうちに進行してしまうケースが多く見られます。
　あなたの職場にも、依存の問題を抱えている人や悩んでいる家族がいるかもしれません。
　今回の研修を通して、産業保健担当者・人事労務担当者として「依存症」の正しい理解を深め、今後、労働者やそのご家族において、「依存症かもしれない」と思った時の対応の参考にしてください。
　【研修内容】
　１．依存症とは
　２．アルコール依存症、ギャンブル等依存症について
　３．精神保健福祉センターの事業等について
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a

○【第154回産業メンタルヘルス研修会】　「発達障害（かもしれない）社員への対応」研修会
　日　時　令和４年１２月８日（木）　15:00～17:00
　会　場　山形ビッグウィング４階４０１会議室
　研修対象者　人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
　講　師　臨床心理士　　公認心理師　　大泉　多美子　氏
　定　員　３０名
　【研修のねらい】
　　コミュニケーションがうまく取れない、仕事の期限が守れないなどという問題を抱えた社員の対応に悩まれているケースも最近よく聞かれるようになりました。その原因の一つとして考えられるのが発達障害です。ただ本人も周囲もそのことに気づかず、本人の性格の問題ややる気の問題として片付けられてしまっていることが多いのではないでしょうか。発達障害とはどういうことなのか、どういう対処をすればよいのかということについて理解を深めていただければと思います。
　【研修内容】
　１．発達障害者の特徴
　２．コミュニケーションのとり方
　３．支援者・上司等の対応
　４．発達障害者への支援制度
　５．発達障害かどうかはっきりしない、本人が受け入れない場合の支援
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90%e9%9b%86%e4%bc%9a%e5%bd%a2%e5%bc%8f%e3%80%91%
◇◇治療と仕事の両立支援について◇◇
山形産業保健総合支援センターにおける支援
　通院等の治療が必要な疾病（がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、肝炎、その他難病など、反復・継続して治療が必要なるもの）を抱える労働者が業務によって疾病を悪化しないよ

う、また、治療と仕事の両立のために必要となる一定の就業上の措置や治療に対する配慮を事業者が行うことは、労働者の健康確保対策等として位置づけられており、現在、治療と仕事を両立できる職場環境が必要となっています。
　山形産業保健総合支援センターでは、治療を続けながら安心して働くことができる職場づくりを無料で支援しております。お気軽にお問い合わせください。
　https://www.yamagatas.johas.go.jp/compatibility/

＊＊

次号のメールマガジンは１２月２３日頃に配信予定としております。
（編集人　副所長　鈴木　保）

～～～

・離間距離の確保について参加者数を制限して可能な限り参加者の離間距離を確保しています。
また、休憩時間中等についても一定の距離を保つようご協力願います。
・会場内における食事は原則禁止ですが、熱中症予防等のための水分補給は、適宜行っていただいて結構です。ただし、飛沫には十分ご留意ください。
・研修会等の前後において参加者同士の交流は極力控えてください。

◆当総合支援センターでは、事業場で産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管理者をはじめ、事業主、人事労務担当者から、メンタルヘルス対策、作業環境管理、健康診断の事後措置等の「従業員の健康管理」や「治療と仕事の両立支援」に関するご相談に応じています。
　ご相談は、下記当センターメールアドレスあて、ご相談内容をご記載の上、メールにてお送りください。

┌┌┌